

2010年9月8日



北海道旅客鉄道株式会社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
日本コカ・コーラ株式会社

北海道内のコカ・コーラ「マルチマネー自動販売機」への 「Kitaca電子マネー」対応の合意につきまして

北海道旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：中島 尚俊、以下：JR北海道）と北海道コカ・コーラボトリング株式会社（代表取締役社長：角野 中原、以下：北海道コカ・コーラ）および日本コカ・コーラ株式会社（代表取締役社長：ダニエル・H・セイヤー、以下：日本コカ・コーラ）とは、コカ・コーラの複数電子マネー対応自動販売機（以下、コカ・コーラ「マルチマネー機」）において、「Kitaca 電子マネー」の決済対応を10月下旬より開始することで基本合意いたしました。

1. コカ・コーラ「マルチマネー機」への「Kitaca 電子マネー」導入概要

(1) 導入の経緯

今回の合意により、コカ・コーラシステムが全国で推進するマルチマネーを活用したJR系の電子マネー対応例としては「Suica(2009年秋より)」に次ぎ「Kitaca」が2例目となります。

「Kitaca 電子マネー」のご利用者にとりましては、ご利用機会の増加に繋がるとともに、コカ・コーラ「マルチマネー機」のご利用者にとっても、決済手段として現金や既に対応済みの他の電子マネーに続いて「Kitaca」が新たな選択肢として加わるため、利便性の更なる向上として期待されます。

また、北海道コカ・コーラとJR北海道は、既に2009年3月より札幌圏の駅構内を中心に69台の「Kitaca 電子マネー」対応自動販売機を展開しており、地域に根ざす企業として今回の合意を契機に、より一層のパートナーシップの深耕につながることを期待されます。

(2) 導入の概要

導入開始時期 : 本年10月下旬より順次

導入台数(予定) : 2010年末までに1,000台規模の導入を予定

2011年以降も継続的な導入を実施してまいります。

「Kitaca 電子マネー」として、Kitaca 及び Suica のカード、モバイル Suica がご利用可能になります。

導入エリア : 初段階として札幌圏(IC乗車券Kitacaエリア)及び函館・室蘭・旭川地区から導入を始めます(順次導入の上、今年末までに1,000台超)。

2. ご利用者へのプロモーションの実施

コカ・コーラ「マルチマネー機」への「Kitaca 電子マネー」の対応について、広くお客さまにお伝えしていくことを目的に、コカ・コーラ及びJR北海道の媒体を活かした告知広告・プロモーション等を共同で実施してまいります。具体的には、JR北海道の交通媒体（車内の中吊り広告や駅の広告など）とコカ・コーラ自動販売機の媒体機能（POP、ポスターなど）を活用した告知や、斬新なプロモーションを行うことで、「Kitaca 電子マネー」対応について、さまざまな機会において訴求してまいります。

本年末にコカ・コーラ「マルチマネー機」への「Kitaca 電子マネー」導入のスタートを記念したキャンペーンを実施予定です。詳細は決定次第お知らせいたします。

3. コカ・コーラの今後の取組について

コカ・コーラでは、業界初の携帯電話機を活用したキャッシュレス自動販売機の導入（02年）を皮切りに、おサイフケータイへの対応（04年）そしてマルチマネーに対応した自動販売機の導入（07年）と、キャッシュレス対応において、業界をリードしてきました。2009年にJR東日本の営業エリアに導入した「Suica」に続き、今回のコカ・コーラ「マルチマネー機」への「Kitaca」導入により、「Kitaca 電子マネー」の魅力がさらに向上するものと考えています。

コカ・コーラは電子マネー「Suica」と互換性のある電子マネーの自動販売機対応を引き続き全国で順次展開し拡大していくことで、お客さまの利便性向上を目指していきます。

* 「コカ・コーラ」、「Coca-Cola」は、The Coca-Cola Companyの登録商標です。

* 「Suica」、「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

* 「Kitaca」は、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。

【参考：マルチマネー機】

北海道内全域のコカ・コーラ「マルチマネー機」設置台数：約6,400台(2010年8月末時点)

【参考：Kitacaの概要(2010年8月末時点)】

Kitacaの発行枚数：約270千枚

Kitaca電子マネーのご利用可能箇所数：1,513箇所

Kitaca電子マネーの1日あたりの平均ご利用件数：約4,800件/日(過去最高)